

開発局の23年度優良工事等表彰式

47社の功績たたえる

高松局長が受賞者に表彰状授与

開発局は二十日、札幌第一合同庁舎で二十三年度優良工事等表彰式を挙行了。局長表彰の栄誉に輝いたのは、工事が田中組など二十二社・JVの計二十六社、業務が開発工管社など重複を除き計二十一社。技術者表彰は工事、業務合わせて五十人となった。高松泰局長が受賞者に表彰状を手渡し、各社の功績をたたえた。

二十二年度に完成した工事一千六百十九件、業務二千四百五十四件を対象に選考。施行成績評定や安全確保の取組、環境対策への努力などを基準に、厳正な審査を経て選定した。表彰件数は、工事・業務とも二十四件で、工事が前年度より十一件少ない一方、業務は四件多かった。

工事では山田組が四年連続、業務では開発工管社が一年連続、構研エンジニアリング、北日本港湾コンサ

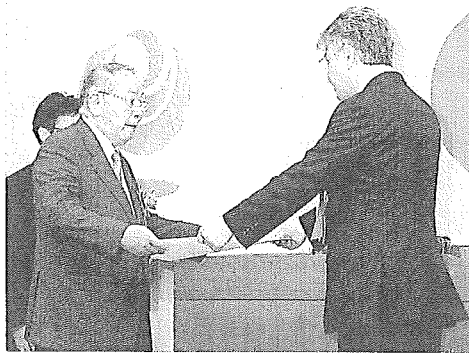
高松局長は表彰状を手渡し、受賞者の努力に敬意を表すとともに、本道発展への貢献に期待を寄せた



ルタントが三年連続の受賞となった。また、建設技術研究所、構研エンジニアリング、日本工営の三社が複数業務でのダブル受賞となった。

表彰式では、高松局長が受賞各社の代表者、受賞対象工事・業務の技術者一人ひとりに対して、表彰状を授与した。

式辞では、受賞者の努力に深い敬意を表すとともに、その成果を高く評価。「今回の受賞を機に、より一層の技術開発等に努め、本道のさらなる発展に貢献してほしい」と期待を寄せた。



高松局長(右)から受賞各社の代表に表彰状が手渡された

開発局

輝く技術47社に栄誉

優良工事等で局長表彰

北海道開発局は20日、札幌第1合同庁舎で2011年度優良工事等局長表彰式を開いた。局長表彰には、工事と業務各24件が選定され、47社の代表者と担当技術者に対して、高松泰局長が表彰状を手渡した。

同局の優良表彰は、前年度の完成工事・業務を対象に、成績評価が特に優秀で、創意工夫に努め、技術の向上に顕著な成果を上げた企業をたたえるもの。一定の表彰枠割合を決めた上で、その枠内で基準に沿って局長、部長表彰を選考し、本局で

の審査を経て決定する。今回で31回目を迎え、この間、部長表彰制度の創設や局長表彰での技術者表

彰、総合評価の加算措置など、表彰制度の充実と活用を図ってきた。今回は、10年度に完成

した工事1619件と業務2454件を対象に、工事が全体の6%、業務は4%程度に表彰枠を設定

した上で選定。局長表彰は48件、部長表彰は工事76件、業務77件の計150件が表彰対象となった。工事では、山田組が4年連続受賞し、伊藤組土建、宮坂建設工業、北土建設も2年連続の栄誉に輝いたほか、年間維持除雪では植村建設と常盤天塩川建設が対象となっている。また、業務では開発工営社が5年連続、構研エンジニアリングと北日本港湾コンサルタントも3年連続の受賞となったほか、建設技術研究所、構研エンジニアリング、日本工営の3社が2カ所の開発発注業務で局長表彰の対象となっている。

20日の表彰式で高松局長は「受賞された皆さんは、困難な条件下で、その技術力を十分に発揮し、極めて優秀な成績を収めた。この功績に深く敬意を表したい」と栄誉をたたえ、「今回の受賞は、社員の皆さんの努力と技術の結晶であり、これを契機に、今後一層の技術開発、人材育成、経営基盤強化に努め、北海道の発展に寄与してほしい」と激励した。

なお、部長表彰については21日以降、各開発などで順次行われる。

で可決した。2次補正の財源に、10年度決算剰余金の全額を充てるための特別法案など関連2法案も併せて可決。いずれも参院審議を経て22日に成立する運びだ。